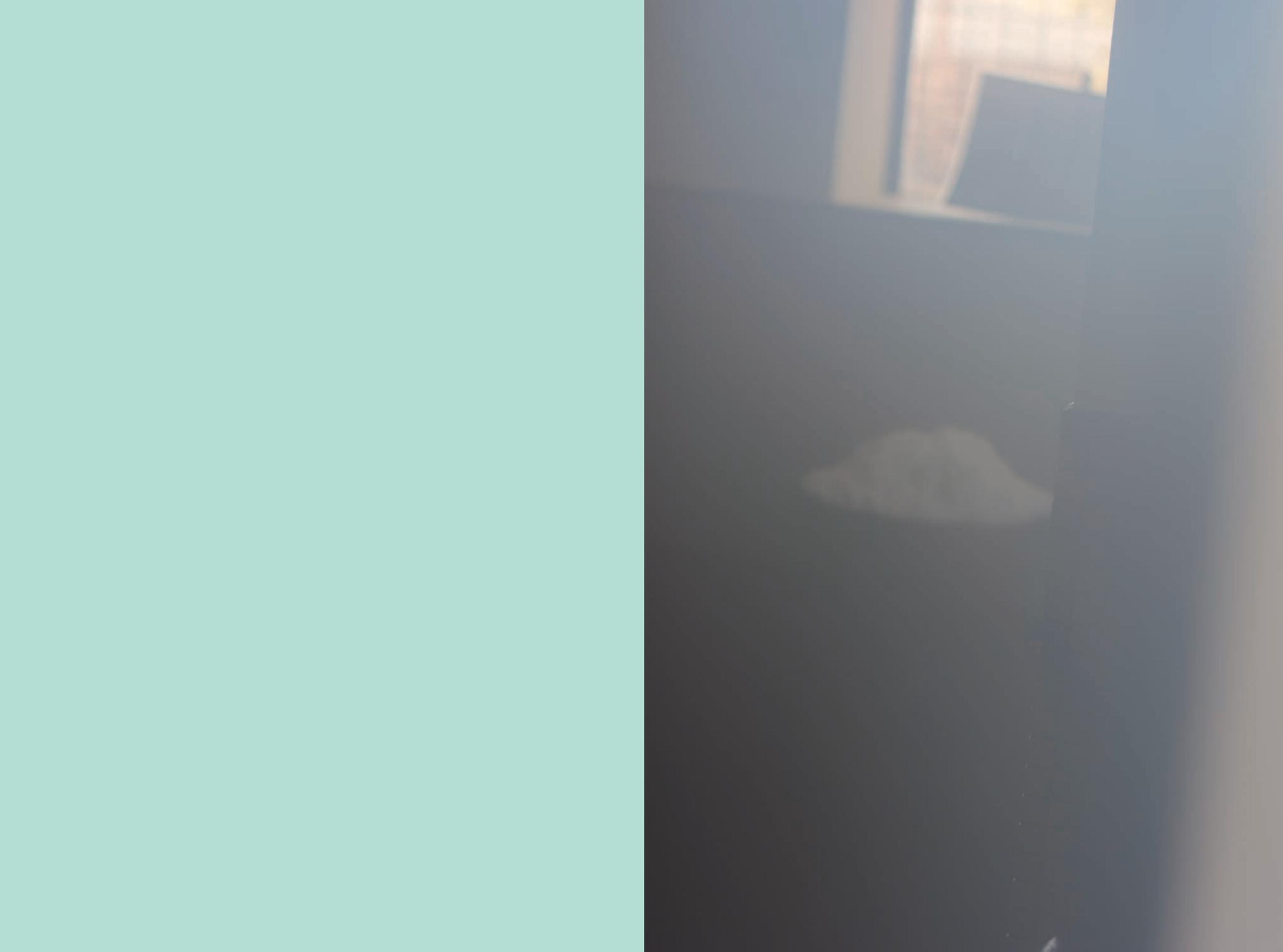


OKAYAMA SETOUCHI

TAMANO

SUMMER '16



ポポーの種をなくした。

初夏。何かの果樹を植えたくなくて樹木の植え方・育て方の本をめくっていると、ポポーという、バナナとパイナップルの間くらいの味。という木をみつけた。足が早いので果実は一般には流通しないらしい。気になっていると、偶々ポポーを食べる機会に恵まれた。森のカスタードともいうのよ。と教えられて食べたそれは、ねちりとして美味しく、その場にいた数名が残った種を植えてみるという。私も種を紙ナプキンにくるんでズボンのポケットに突っ込む。夜に思い出して、洗濯してしまわなかった自分自身を褒めたたえ、玄関近くの棚に置こうとしていや待てよ。と思った。ここに置いたらごみにしか見えず、捨てられてしまうのではないか。そのまま、キッチンに向かい、そこからの記憶がない。あーあ。

夏の終わりの家庭菜園で小豆のさやがフサフサ連なってゆれていて、うっとりする。小豆も自家採取をした人に頂いて今年初めて蒔いた。固い土を掘り起こして、少し庭をいじってみただけで、沢山の種類の虫を見る事になり、驚いた。また芽吹いたり枯れたりサイクルに日々関わっていると「自分が」という感覚がじわりと溶けていく気がする。自分と他者の境界があいまいになる感じ。

玉野市に来てから、自分の価値観を他人に押し付けない人に沢山あった。自分と違う考え方を否定しない。というのは、思っているよりも多分ずっと難しい。否定されないと「自分の」考えを表に出す事にためらいが少なくなり、息がしやすくなる。あいまいになった境界で自分が強まっていく不思議さよ。反対の事が同時に存在するのは気分がいい。ただただ葉っぱを見続ける時間があるって仕事の在り方に、向かっていくしかない時間がある。ここが好きなのだと思う。







































































# 玉野市をめぐる暮らしのはなし

取材・編集 森・柳川（うのずくり）

## 塩津昌寛さん

玉野暦 1年と7ヶ月

街の規模がちょうどよくて、色んな人ととんとん繋がっている楽しい街です。直島などがあるおかげで人の出入りも多い。海やアート好きならたまらん街だと思います。

暮らしの話\_家の隣が魚市場で、毎朝早朝から競りの声が聞こえてくる。アラーム代わりにできるし、とても日本語には聞こえない謎の掛け声の内容を解釈するのを楽しんでいます。

お気に入り\_東山ビル(\*1)の屋上。早起きして屋上で海から上る朝日を眺めながら、チャイを飲んでるとそれだけで幸せ。夏の週末の屋上でのビアガーデンもまるで日本じゃないみたいです。

PROFILE: 東山ビルをセルフビルドで目下リノベーション中！山や海、自然が好きな青年、愛称だいちゃん。岡山県総社市出身。

## 津村友香さん

玉野暦 3年

ゆったりした生活が好きなのは、本当におすすめの場所だと思います。ぜひ一度来てみてください。

暮らしの話\_UNOICHI(\*2)との関わりです。私が玉野に来た年にスタートして最初から携わっていますが、このイベントがあるからこそ、玉野を好きになれたと思っています。

お気に入り\_やはり宇野港です。ぼーっとしたかったり一人で考え事をしたときになんとなく行きたくなる場所です。ゆったりとした波にリズムが心地よいです。

PROFILE: 玉野商業高等学校3年生。生徒会長・岩田さんと共に高校生 UNOICHI 実行委員会のメンバーとして企画・運営に参加中の爽やか女子高校生！

瀬戸内海の目前、海と山に恵まれる人口約6万人の街・玉野市。塩田の広がっていたその昔から数十年。対岸の香川県高松市とは、瀬戸大橋が完成するまで宇高港航路による盛んな往来がありました。造船業も盛んですが、近年は直島をはじめとする島々での芸術祭が人気で、海外観光客を見かける機会もぐっと増えました。そんな玉野市に、もとより住んでる方・ここ数年のうちに住み始めた方々の、暮らしっぷりについて聞いてみました。玉野市へ移住を考えられているみなさんへのメッセージ付き！

## ねこさん

玉野暦 大学4年間を除く37年目

本州にありながら、四国も近く、住みやすい所です。ぜひ来てみてください。

暮らしの話\_気候が良く、自然災害もほとんど無いので、いざという時慌てます。野菜など自家栽培している人が多いので、色々もらえます。国道に大きなイノシシが落ちていたことがあった。

お気に入り\_宇野港の眺め。瀬戸内海の島々と行き交うフェリー、毎日見えています。お魚が美味しいです。桃や葡萄が手軽に食べられます。

PROFILE: 造船関係の会社に事務員としてお勤めの心優しい猫愛家。仕事の後は、手話サークルやベリーダンス、茶道、ヨガ教室に通う。生粋の玉野市生まれ玉野市育ち。

## 藤田さんご家族

玉野暦 1年と2ヶ月

玉野は気候も良くて災害も少なく、市内からも程よい距離で、程よく不便で、海も山も楽しめる愉快な所ですよー！

暮らしの話\_東京に住んでいた頃にはいつかはやろうと思っていた事が、次から次へと叶っていている。畑、祭囃子に参加、自然豊かな所で子育て、マルシェに出店、古民家で暮らすこと。

お気に入り\_いま住んでいる集落が本当に大好きです。

PROFILE: 地域のお祭りで、習得に数年かかると言われる獅子舞の笛を見よう見まねの2週間で披露、地元の方々と驚かせたこともある旦那さん。塗装業をやりつつ傍、畑でせっせと野菜を育てる。奥さんは、ときどきお手製のカレーや焼菓子をマルシェで販売されています。息子さんとの三大家族。

## 三上さんご家族

玉野暦 1年と半年

想像以上に大変な面もありますが、得るものも色々あると思います。

暮らしの話\_家で、私は右手を、夫はニャン玉袋をむかでに刺されました！

お気に入り\_児島湖畔

PROFILE: 2014年に家族三人で東京から移住。古い古民家をマイペースに直しながら暮らされています。旦那さんのライフワークは、釣具の開発製造。

## 山田敏慎さん

玉野暦 2年目

のんびりしていて1人者も多いのでマイペースに暮らせると思います。港なので外国人や旅人も多く望めば刺激が沢山ありますよ〜♪海も山も有り時間毎に景色が本当に美しい。いいところです。

暮らしの話\_時間がのんびり流れていて自然が美しいので、黄昏時や夕陽、日差しによる鮮やかな色など日常生活の中で何かを感じる機会が多いです。人も親切でマイペースで個性的な人が多く、何か困ったことがあると助け合えるし、それでいて適度な距離を置いてくれるので私自身自由きままに生活しています。また、移住者も増えてきているので人がまた人を呼び、港なので一期一会の出会いもあり、刺激があって楽しいですよ！

お気に入り\_船が通る時に橋が上がるという何これ珍百景みたいな桜橋と橋の上から見た両サイドの景色は世界一だと思っています。あと、45号線から新岡山港の手前に有る大っきな陸橋から見下ろす両サイドの海が美しい。夕暮れ時に天使のはしごが見られます。

PROFILE: アルバイトをしながら駅東創庫(\*3)で木彫の作家活動をバリバリこなす。京都からやって来たパワフル&愉快なお姉さん。

先輩移住者の声はWEBでも掲載中！- たまのの IJU コンシェルジュ [うのずくり] <http://www.unozukuri.com/>

## 岩田祥喜郎さん

玉野暦 17年

玉野市は、岡山県の市町村の中でも自然がとても美しい街です。空気はもちろん、海や山などとても美しいところがたくさんあります。ぜひ、玉野市に来ていただき五感で美しさを感じてもらいたいと思います。また、住む人々は温かく、移住されても楽しい生活が送れると思います。玉野市への移住をお待ちしています。

暮らしの話\_私は玉野生まれでずっと玉野で生活しているので、あまり気づかないですが、当たり前のように海や山が近くにあるので海水浴や山への散歩などをよくします。他にも玉野市の人々は人柄がいいので、地域行事などを通して近所の人ととても仲良くなることができます。

お気に入り\_玉野市はとても自然がきれいで中でも代表される洪川海岸や王子が岳などの山の眺めは絶景。かっからか踊りをはじめとした市内各地に古くから継承されている伝統芸能を体験したり見ることができます。どの伝統芸能も全国的に珍しいものが多く貴重な体験ができます。

PROFILE: 玉野商業高等学校3年生。生徒会長として学校行事の運営を行う。高校生 UNOICHI 実行委員会のメンバーとして企画・運営にも参加中の男子高校生！

## 加藤翔大さん

玉野暦 半年

ぜひ、一度遊びに来て、たまの魅力を肌で感じてください。海が隣にある生活って本当に素敵です！

暮らしの話\_瀬戸内海に囲まれて生活できるなんて夢のようです♪地中海のマルタ島ってとこで生活していたことがあるのですが、そんな感じです(笑)

お気に入り\_宇野港の突堤でシートを広げて読書するのが至福の時間です！海風がとっても気持ちいいですよ！

PROFILE: 玉野市政策財政部で働く笑顔の素敵なお兄さん。移住のお手伝いやたまの魅力を発信する日々..東京から来玉！

\*1 東山ビル\_宇野港沿いにある築40年強の複合ビル  
\*2 UNOICHI (うのいち)\_四季開催\_宇野港でのマルシェ  
\*3 駅東創庫\_宇野駅近くの共同アトリエスペース

## TAMANO 2016 SUMMER

2011年6月から活動をはじめた「うのずくり」は、玉野市に移住される方、また移住された方のサポートなどを行っています。今年は玉野市からも認めていただき、「たまのIJU コンシェルジュ」として、市とも連携して活動を行っています。

この小冊子「TAMANO（タマノ）」は、移住された方や地元の方と一緒に玉野市の風景約20ヶ所で撮影をしました。玉野市の景色、暮らしの空気感や生活の温度が少しでも伝わると嬉しいです。夏は、瀬戸内の空の高さと澄み澄みとした光を一番感じられる季節です。

玉野市は海も山もある豊かな自然と恵み、生活の利便性やちょっと不便なところ、また、様々な人が行き来する港があるまちです。そんなところを気に入ってくださった方が少しずつ来られ、これまで34組67名（2016年10月現在）の移住をお手伝いをさせていただきました。嬉しいことに来てくださる方はみなさん気さくな方たちばかりで、ちょうど良い距離感のある親戚が増えているような、少しずつ少しずつですが、ゆっくりとおだやかな瀬戸内らしい季節や時間を重ねながら日々過ごしています。

移住をされる際は、各々全く違います。お話の進め方や進み具合、決まり方などこれといったものはないのですが、でも、言葉にはならないけれど何か大事にされているものはなんとなく近くて、緩やかな縁や繋がりを不思議と感じてしまいます。移り住むこと、そして、暮らすこと。住む場所を選ぶこと。選ぶのか、縁なのか、はたまた別の何かなのか。可能性も含めて、いろいろな狭間で考えたり感じたり、ときには流れに身を任せながら、嬉しいことも残念なことも真正面から受けとりながら、過ごしてきた5年間のように思います。

何かを選ぶ時、理由もありますが、何故か惹かれるものや勘や縁など、自分の感覚も含めて身の回りをフル回転しながら決めたり、身を委ねたり、それがとても無理のない（少しはあることもあるけれど）自然なところへ流れていくのを見守っているところもあります。そういった流れる糸を紡ぎながら、目の前の何かをただひたすら信じながら前へ進んでいるような。それは、陸にいるより水の上にいるような感じに近いかもしれません。

玉野市は人が出会ったり行き来のある、海と船と港のあるところ。そして、この冊子にある、こんな風景、こんな人たちがいるこのまちです。いつまでも見ていられるこの景色を目の前に、まちを柔らかく、住む人たちの手で、あるものを活かし、無いものをつくったり工夫したりしながら、宇野に住んで+つくるの造語である「うのずくり」を始点に、これからも寄り添っていければと思います。

すべての人が、すすく、のびのび、いられるところでありたいと思っています。

うのずくり 森美樹

2016年11月

